

2020-2021年度



ロータリーは機会の扉を開く

第2570地区

# 行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「Let's make fellows!」「友達をつくらう」

ガバナー 相原 茂吉

会長方針

ロータリーを面白くしよう、  
そして楽しもう。

会長 長谷川 博

会幹編

長事集

長谷川 木瀬岡  
鈴木 梁松渡金田  
松本 渡辺沢村

敬一郎 司浩孝敏宏  
由昭明

事務局

電話  
例会日時  
例会会場

埼玉県行田市行田5-10  
スリーハートビル3F  
048 (564) 3000番  
火曜日12:30~13:30  
ホテルガーデンパレス  
熊谷市佐谷田3248番地  
048 (525) 7777番

電話

URL <http://www.gyoda-sakura.jp>

印刷：マツオカ印刷株式会社

## 第2197回（8月18日）例会報告

- 点 鐘 長谷川博 会長
- 来訪者紹介  
第2570地区 直前ガバナー 鈴木秀憲 様
- 会長報告 長谷川博 会長
- 幹事報告 鈴木敬一郎 幹事
- 出席状況報告 中村重継 委員長
- ニコニコ報告 長島豊 委員長
- 「ロータリーの友」読みどころ紹介  
ロータリー雑誌委員会 渡辺昭孝 副委員長
- 本日の卓話  
第2570地区 直前ガバナー 鈴木秀憲 様  
第5グループ 直前ガバナー補佐 新井啓介 様  
直前地区幹事 藤倉 武 様  
行田さくらロータリークラブ 川野健人 直前会長  
： 春日雅樹 直前幹事
- 点 鐘 長谷川博 会長

## 会長報告



長谷川博会長

皆様、本日はお暑い中例会にご出席有難うございます。

本日は鈴木直前ガバナーをお迎えしての例会でございます。直前ガバナー、直前ガバナー補佐、直前地区幹事、当クラブの直前会長、直前幹事の皆様に卓話、ご挨拶をお願いしてございます。

コロナ禍の中色々ご苦労もおありだったと思いますが、その辺も含めてお話願えたらと思います。よろしくお願いたします。

## 幹事報告



鈴木敬一郎幹事

鈴木直前ガバナー御来訪を歓迎いたします。本日はよろしくお願いたします。

訃報です。8月5日島崎義春会員の御母堂様 はる様のご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。コロナ禍のもと喪主様のご希望で、家族葬により葬儀は8月11日に執り行われました。当クラブより改めて島崎会員のご礼状を発送させていただきます。

それでは、幹事報告をさせていただきます。

8月25日の第2198回例会は当クラブの第2570地区地区研修委員である新井啓介委員のロータリー研修卓話です。また、当日は新会員の入会式を予定しており

ます。

残念なことに前回も、お弁当あまってしまいました。  
出欠のご連絡をお願いします。

### 出席状況報告

中村重継 委員長

会員数	出席対象者	出席者	メーキャップ	出席率
51名	46名	21名	3名	52%

### ニコニコ報告

長島豊 委員長

長谷川会長 鈴木直前ガバナーご来訪歓迎いたします。  
鈴木幹事 鈴木直前ガバナーご来訪歓迎いたします。  
鈴木直前ガバナー お世話になります。

細井パストガバナー パストガバナー鈴木秀憲さま  
お疲れ様でした。

横川会員 前会長、幹事さん一年間ご苦労さまでした。

矢澤会員 鈴木パストガバナー、お暑い中お越しくだ  
さり、ありがとうございます。卓話楽しみに  
にしみです。

新井会員 昨年度、鈴木ガバナー大変お世話になりま  
した。補佐としてやらせて頂きましたが、  
どれだけお手伝いできたと思っています。  
クラブの皆さまありがとうございます。

倉持会員 昨年度、鈴木ガバナー、新井ガバナー補佐、  
藤倉幹事、本日は宜しくお願ひいたします。  
川野直前会長、春日直前幹事一年間お疲れ  
様でした。

五十幡会員 昨年度は、鈴木ガバナー、新井ガバナー  
補佐、藤倉地区幹事、川野会長、春日幹事、  
大変お疲れ様でした。

川野会員 本日は慰労会ありがとうございます。

同文として、三島務、渡辺昭孝、田中利幸、春日雅樹、  
大谷文孝、藤倉武、丑久保紀美、長島豊、  
宮本伸子、飯塚秀司、松岡由浩  
中村重継

### 「ロータリーの友」読みどころ紹介



ロータリー雑誌委員会 渡辺昭孝 副委員長

### 本日の卓話

ガバナー年度を振り返って



第2570地区 直前ガバナー 鈴木秀憲 様

1年間お世話になりました。皆様方のご協力に心か  
ら感謝申し上げます。

思い起こせば一昨年12月、止むを得ず2度目のガバ  
ナーを引受けることにしました。前回ガバナーから7  
年目の就任になります。前回ガバナーを経験してい  
るので、ガバナーになる為の教育(GETS…地区ではPETS  
に当たる…や国際協議会…地区では地区研修協議会に  
当たる)へ出席する必要はないだろうと思っていた。し  
かし7年前に受けた教育では賞味期限が切れているら  
しい。俄かに慌ただしくなってきた。

国際協議会から帰国後には、色々な準備も儘ならな  
いままに2月の地区チーム研修、3月のPETSを研修委  
員の皆様方のお陰で終了し、4月の地区研修協議会  
では川本ロータリークラブの皆様方に大変お世話にな  
り無事に終了出来ました。川本RCは会員数が少ないにも

かかわらず、皆様総出でご尽力下さり、費用抑止にも大変ご協力頂きました。

7月に2019-20年度が始まると、直ぐに公式訪問が始まった。久々のクラブ訪問だが、色々と面識のある方々との再会や初めてお会いする新会員の方々との懇談、各クラブの誇れる点のご披露を伺わせて頂く等、有意義な毎日であった。ガバナーは色々なクラブのお話を聴く事が出来るが、一般の会員は、同じグループ内の他クラブの話はなかなか聞く機会がない。クラブ役員さんが自クラブの誇れる点を嬉々として話されるのを聞きながら、他のクラブの皆様聞いて頂く機会を、必ず作ろうと考えた。具体的には地区大会でパワーポイントを活用し写真や動画を交え、クラブ会長に発表して頂く案を心ひそかに練り始めた。

公式訪問は11月中頃に終了したが、この後も自分の関連する会議や行事等で、2019年は終了した。

2020年1月、ロータリーを始め、私が関係する諸団体の新年会やその他会合そして、自分の叙勲（前年に旭日小綬章を頂いた）祝賀会等で慌ただしく過ぎ、2月になってから世間で新型コロナウイルス感染拡大が急に問題になって来た。感染拡大防止の為の接触回避その為の外出自粛が盛んに言われ出した。地区として会議の持ち方に対して各クラブへ発信した。

3月5日地区大会開催予定地である行田市にて、新型コロナウイルス感染者が出た。この状況では地区大会予定会場の使用は禁止になるだろう。又、日程を延期しても2019-20年度内（つまり6月30日迄）の開催は不可能と考え地区大会中止を決定し、3月10日に各クラブ宛にその旨を連絡した。翌3月11日WHOはパンデミックと表明した。

地区大会中止の理由は、1. 大会へ参加した会員が感染し、ご家族や周辺の方が感染する事を防ぐ事 2. ロータリーは「疾病予防と治療」に注力している。そのロータリーの会合が感染ルートになってはいけない。以上2点だ。

地区大会を中止した代替として「1. 地区重要事項について書類審査して頂く。2. 四委員長紙上座談会や、各クラブの誇れる点（A4版1頁に表記）を冊子にする。3. 地区大会に合わせて埼玉県知事と座談会を

開催する計画は、大会を中止しても知事との座談会は予定通り実施し、新聞へ掲載する。」とした。知事との座談会は地区として（おそらく全国でも）初めての事であろう。大会予定日前日の4月17日に掲載され、多くの方の目に触れた様だ。一つには掲載紙の発行部数が多かった事、そして何より知事との対談という事が世間の方々の目を引いたようだ。地区として先鞭をつけたつもりだ。次年度以降も実施されたら如何であろう。何と言ってもガバナーを和訳すると「知事」なのだから。又、クラブ会長に就任されたら地域の首長と対談され、広報したら如何であろうか。

冊子については「幻の地区大会」と名付けた。知事との対談紙面縮刷版と共にお手元へ届いていると思う。

新型コロナウイルス感染は色々な点で、問題を投げかけた。ロータリーに限らず、全国民を挙げて取り組む必要が有る。「コロナ騒動の陰で露呈してきた問題」が有る。

1. コロナ感染拡大を防ぐ為の外出自粛と外出自粛による経済の後退。短期間であれば、経済の後退は止むを得ない事と受け留め、全国民挙げての外出自粛。

2. しかしコロナ禍が長期化してくると経済の後退が大問題となって来た。これを踏まえて私は「経済をコロナ禍との対立ではなく共生を目指そう。ロータリアンがその原動力になれないだろうか？地域でロータリアンが話し合い、コロナ対策と経済活動の両立での指導者たる事を願う。」旨を月信6月号へ記述した。これこそ正に職業奉仕であると申し上げます。

3. そう近くはないかも知れないが、新型コロナウイルス感染はやがて防止出来るだろう。で、問題は新型コロナウイルス騒動終息後の事だ。端的に言うとなら「生活の価値観に変化」が感じられるようになる。「以前に売っていたから、消費が戻れば売れる。」とか「世の中が元に戻れば、需要は以前のように戻って来る。」と、考えることは危険だと私は考える。この自粛に耐えた3カ月の間に、世の経済活動は元より、社会通念・常識も変わってきた部分が有ると考えている。今迄の状況が、やはりバブル状況であったと考える。必要な余力は大切だが、無駄なものや過剰なものは整理して考えるべきであると思う。

コロナ禍後の職業の在り方を模索し、自社の強みにつなげれば素晴らしい職業奉仕になると思う。同様にコ

ロナ禍後の社会の在り方を地域の方々と共に模索する事は素晴らしい社会奉仕になると考えている。



第5グループ 直前ガバナー補佐 新井啓介 様



行田さくらロータリークラブ 春日雅樹 直前幹事



直前地区幹事 藤倉 武 様



行田さくらロータリークラブ 川野健人 直前会長